

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 年 月 日

事業所名 SSTココペリの森

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		個室のスペースを確保しながら、活動の工夫や活動スペースを臨機応変に対応している。	日によって利用人数が多いため、手狭に感じることがある。
	2	職員の配置数は適切である	○		今いる職員のスキルを向上しつつ、新しく入職する職員も育成していきたい。	基準配置は満たしているが、急な休みでの欠員の際に配置が足りず、現場が手薄になることがある。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○	階段は、見守り、手添えを行っている。	バリアフリーが必要な子はいないが、今後のためにも入口の階段に手すりがあればと思う。今後要検討していきたいところである。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		ミーティング等や日常で、共有や振り返りを行っている。	職員間で意識の違いもあるように感じる所もあるため、個人個人の意識を身につけるためにも、やるべき業務の見える化を行いたいと思う。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		評価表や、行事後に行うアンケートを用いミーティングを行い、周知し支援や次へ繋げるよう心がけている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページにて公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		第三者委員会が未設置のため、今後設置を検討していく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		リタリコなどを活用し、事業所内で研修を行っている。その他社外や社内研修に参加している。	職員により意識や支援法の違いがあるため、個人個人が積極的に学んで行く意識や必要がある。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		児発管が、各関係者より集めた情報や、職員とのアセスメントやモニタリングによる情報で、その子に合わせた計画を作成し、共有を行っている。	情報の読み込みが、各職員によってバラつきがあるため、全職員がしっかりと把握できるように意識付ける必要がある。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		月初めのミーティングで、1ヶ月分の活動予定を作成している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		利用する学年や人数を考え、同じ活動が被らないよう、季節なども取り入れ様々な活動・戸外計画を作成し、担当を決め立案作成を行っている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		平日利用では行えないような活動・戸外活動でのお出かけを実施している。	確実な立案などで、設定の定着を行いたい。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる放課後等デイサービス計画を作成している	○		個別が有意義な子を中心に、専門職員が取り組んでいる。	来所が遅く時間が短い子にも個別が必要な子がいるが、なかなか取り組めていないので、今後取り組めるように工夫していきたい。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		情報共有ノートを活用している。	全員がなかなかそろわないので細かい部分での打ち合わせなどが難しい所がある。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		○	情報共有ノートを活用している。	送迎時に気づいたことや、支援中に課題があった場合は共有と言う形での話をするが、毎回ではない為短い時間でも皆が集まってその日のうちに話せる様にしようと思う。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		連絡帳・ケース記録等で日々の支援で支援内容を記録している。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		職員間で情報の聞き取りを実施し、多角的に意見を出し合っている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っている	○			ガイドラインの内容を、職員が確認、認識し今後さらに意識しながら支援を行いたい。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児発管が、他の職員より聞き取りを行い会議に参加している。専門職も必要場合は専門職も参加をしている。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		送迎時での情報提供や、学校や保護者との連絡共有を行っている。共有ノートも活用している。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		対象児がいらない為、体制が整っていない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		相談支援専門員を通じ、情報提供が必要な場合は情報提供、共有を行っている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		上記に同じ。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○		必要に応じ各専門機関と連携しながら、研修などの機会を設けていきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		特に機会として設けていないが、通所している子供の半分以上が地域の学校に通い、学童を併用している子もいる。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○		なかなか参加の機会がないが、機会を作り参加していきたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		連絡帳やLINE、電話等のツールを利用したり、伝えられる場面で情報の共有を行っている。それでも必要場合は、事業所内相談を行っている。	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○		実施出来ていない為、研修などを取り入れ知識を身につけ、外部講師を呼ぶなどとして、取り組んでいきたい。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に、同意書等用い説明を行っている。補足が必要な場合は、都度対応している。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		連絡ツールの他、事業所内相談を行っている。また保護者の方が相談しやすいよう日頃からのコミュニケーションを大切にしている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		感染症の観点から何年か行えていなかったが、今年から取り組んでいきたいと思っている。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		速やかに、管理者に報告し協議、対応を行っている。また頂いたご意見は、全職員に報告、周知を行っている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		お便りや行事予定、活動予定表を発行している。	
	35	個人情報に十分注意している	○		ファイルは鍵付き書庫にしまい、職員もしっかりと個人情報の持ち出し漏洩については意識付けをしている。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		連絡帳や、その他ツールを使用しお知らせ、お伝えしている。子ども達にも、話しやすい環境で気持ちを引き出すように心がけている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		マルシェなどを開催している。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		各種委員会を行い、マニュアルを作成し職員への周知と、事業所内への掲示を行っている。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		活動などの際に学びの時間を設けている。	避難訓練の実践が足りないので、実践的な訓練を取り入れていきたいと思う。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		委員会を設置し、年に4回ほど委員会を開き、振り返りや情報共有を行い周知、意識づけを行っている。また各職員に研修を受講してもらいスキルアップを行っている。	全職員がしっかりと対応、周知できるように、ミーティングなどでも、一人一人の意識の向上を促していきたいと思う。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		現在、該当無しであるが、重要事項説明書に簡潔に記載している。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		アレルギーのある子には、お弁当持参などしていただく等、保護者の方と話し、適時対応を行っている。	アレルギーをお持ちの子の、検査結果などを頂いていたが情報更新が出来ていないので、都度情報交換や管理を行ってきたい。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		出来事があった際には、その日か次の日の午前までには報告書を作成し、情報共有はその日のうちに行っている。	起こったことのヒヤリハットは、しっかりと振り返り再発しないよう、各自意識づけをしっかり行いたい。